

《令和6年度全国学力・学習状況調査結果報告》

「全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。」

4月に中学3年生を対象とした「令和6年度全国学力・学習状況調査」が次のとおり実施されました。宮崎中学校の結果と今後の取組についてお知らせいたします。

【調査概要】

実施日：令和6年4月18日（木）

対 象：3年生 35名

内 容：①教科に関する調査（国・数）

②質問調査



※本調査で測定できるのは特定教科の学力の一部であり、学校における教育活動の一側面です。

【結果】

①教科に関する調査

	国語	数学
福井県との比較	○	◎
全国との比較	○	◎

※全国平均正答率、県平均正答率との比較

◎…大きく上回った（3.1%以上）

○…同じ、または上回った（3%以内）

△…下回った

②質問調査

【とくによかった点】※全国平均、県平均を大いに上回った

- ・学級での話し合いを通して、学級生活をよりよくしていったり、自分がすべきことに気付いたりすることができる生徒が多い。
- ・将来の夢や目標を持っている生徒が多い。
- ・学校に行くのは楽しいと思っている生徒が多い。



【気がかりな点】※全国平均、県平均を下回った

- ・授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりしようとする意識がやや弱い。
- ・普段（月曜日から金曜日）、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などを行っている時間が1日当たり2～3時間と答えた生徒が半数近くいる。（2時間未満は約3割。）
- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校の大人にいつでも相談できると回答した生徒の割合がやや低い。

【今後の取組】



① 国語科

- ・生徒が具体と抽象の関係について理解するのに課題があります。「具体」「抽象」という言葉の意味を確認し、身近な情報を使って具体と抽象の関係を理解させること、報告や解説文を読んで理解したり、考えたことを文章にまとめたりする活動を取り入れることにより、具体と抽象の関係をより深く理解させることを目指します。
- ・文章の全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉える問題で、多くの生徒が適切に答えられませんでした。具体例がどのような役割を果たすかを確認したうえで、さまざまな文章の中で具体例と説明内容を確認する活動を繰り返し、両者の関係を考える機会を多く設定することで、文章全体の理解力の向上を目指します。
- ・漢字学習については、小テストや学習アプリを活用し、漢字の書き取り力を強化することを目指していきます。また、自分の考えを書く活動については、接続表現や文例を提示するなどして、書くことが苦手な生徒も粘り強く、最後まで書ききれるようサポートします。

② 数学科

- ・連続する二つの偶数を文字式で表すことに課題があります。偶数や奇数の表し方などについて定期的な復習の機会を設け、基本的な知識や技能を確実に身につけるようにします。
- ・式やグラフの解釈が難しく、特に時間や量の違いを表現するのが難しいと感じる生徒が多いです。表、式、グラフを用いた説明方法を分かりやすく指導し、表現活動を強化する工夫を探ります。



③ その他



- ・学校に行くのは楽しいと思っている生徒の割合が高いのは、① 先生方によいところを認めてもらえ、自己肯定感が高い生徒が多いこと、② いじめは絶対いけないことだと考えている生徒が多いこと、③ 友達関係に満足している生徒が多いこと、などが理由として考えられます。今後も、学校が安全・安心な場となるよう、生徒の成長・頑張りなどを積極的に認めたり、いじめを許さない風土づくりに努めたりしていきます。
- ・授業での学習内容を社会や日常生活と関連づけることを通して、生徒に興味・関心をもたせていきます。また、経験が乏しい部分については、体験学習やゲストティーチャー活用などの機会を設定することで、実際に経験をさせ生徒の自信につなげていきます。
- ・携帯電話やスマートフォンを活用した SNS の利用や動画視聴については、家庭で決めた「我が家のメディアルール」を守っていないと回答する生徒も多いので、今後も継続的に啓発を行っていきます。
- ・生徒にとって、いろいろな悩み・不安を相談しやすい学校づくりに努めていきます。生徒の困りごとや不安感には、関係教員や S C がチーム体制で支援していきます。